

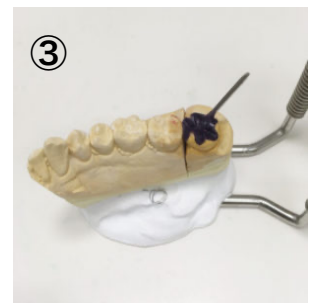
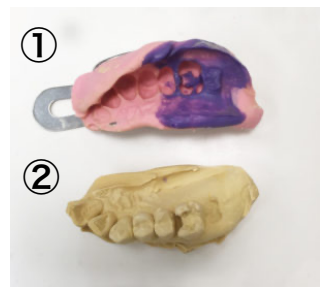
# 今月のさがあお豆知識

NO.78

歯科技工士の八田と申します。  
院内で技工ができるようになりました。  
今回は保険の銀の被せ物の作り方を紹介していきます。



- ①治療の際、患者様の歯を削った後、  
印象（歯型）を採ります。
- ②採った印象に石膏を流し入れます。  
石膏の歯の模型を作ります。  
(患者様の歯の形が精密に再現されています。)
- ③その模型上でワックスアップと言われる作業をします。
- ④スプルーを下に向け円錐台に取り付けます。
- ⑤円錐台に金属のリングを取り付け、埋没材を流し入れます。
- ⑥埋没材が固まったら円錐台から外し、  
700℃位の電気炉の中に入れ、ワックスを焼却します。  
(リングの埋没材の中に歯型の空洞が出来ます。)
- ⑦十分加熱したリング（埋没材）の空洞の中に、  
遠心鑄造機という機械を使って、  
ガスバーナーで溶かした金属を流し込みます。
- ⑧取り出した歯の形の金属（被せや詰め物）を  
綺麗に研磨したら完成です。



他にも色々な種類の被せ物がありますので、お気軽にご相談ください